

2026 年度アガペ保育園事業計画

理念の聖句：「ひかりの子として歩みなさい」 ～エフェソ 5：8～

理念～どのような子どもの育ちを願うのか～

「自己肯定感がもてるこども」自分がそのままでもいいと思う心を持ち、受け入れられる経験を積み重ね、互いに受け入れ、共に生活し、豊かな関わりを通して自己肯定感がもてるような保育を目指す。

保育目標

- ・感謝する心・共に育つ力・個性を認め合う生活

私たち一人ひとりが神さまに愛され、受け入れられていることを知り、子どもたちをしっかり受けとめ、否定するような言葉を使わない保育を行う。そして、そのような保育をするにはどうしたら良いか自問自答を繰り返しながら保育にあたる。

計画

1-1 キリスト教保育

- ・キリスト教保育を行う施設で働くものとして、関係協会の主日礼拝を重んじる。
- ・保育者の愛情ある関わりの中で、子ども一人ひとりが安心して自分の思いを表しながら園生活の中で 人との信頼関係を育んでいけるようにする。
- ・月の聖句を園内研修で積極的に学び、毎月のカリキュラムへおろした保育計画のもと、
- ・子ども達と聖句を暗唱したり、礼拝参加・聖書のお話に親しむなど、心を動かす豊かな体験が出来る保育を行っていく。
- ・お祈りと賛美を通して目に見えないものを大切にする心を育てる。

1-2 運営体制

職員間の連携

- ・思いや課題をともに共有出来る関係づくりを大切にし、互いに学び合い、支え合いながら育ち合うチーム保育を築いていく。
- ・日々の保育の中で声を掛け合い、自分の役割を理解し、支え合える関係を作っていく。

保護者支援

- ・保護者一人ひとりの思いや背景に寄り添いながら、子育ての喜びや悩みを共有し、ともに子どもの育ちを

支えていく園づくりに努める。

- ・誕生会や遊び参加・給食試食会を通して、園での生活や遊びを保護者に提供できるようにしていく。
- ・週報で生活や遊びの様子をつづったドキュメンテーション・園内には子どもの写真や作品を掲示し、園の様子を伝えていく。

保育の資質向上

- ・園内研修・保育の振り返りなどの学びを職員と共有し、日々の保育に活かしていく。
- ・外部の研修参加など、職員が意欲的に自己研鑽して学べる機会を持てるようにしていく。

地域への発信

- ・園外保育・近隣への散歩を日々の生活に取り入れ、地域の方との繋がりを大切にする。
- ・ひかりの子子育て支援施設 Waters of Rest と連携を取り合い、地域の親子と交流して楽しむ機会を持てるようにしていく。
- ・近隣のお宅を訪問し、行事を共に祝う機会を持つ。

ひかりの子・フリースクールこといろとの連携

- ・同じ学年の児や異年齢の児と交流できる機会を持ち、さまざまな人（友だち）と関わる喜びを体験出来る機会を持つ。

1-3 保育内容

- ・0歳児：安心出来る大人との応答を大切にし、生理的な要求を十分に満たし、一人ひとりの生育歴の違いに留意しながら安定した状況の中で生活できる保育を行う。
- ・1・2歳児：
 - ・安心出来る保育者の見守りの中で少人数・異年齢の友だちと関わり、「あそんでみたい」「自分でやってみたい」という思いを大切にし、自主性が育まれる保育を行う。
 - ・全身を使った運動遊びや音楽遊びを取り入れ、個々の運動機能の発達に繋げていく。

1-4 保育環境

- ・季節や自然に親しみながら、子どもが気付いて考え、工夫して遊びを広げられるような園庭の環境作りに努める。
- ・室内の子どもが自ら工夫して遊べるコーナー遊びの充実をはかる。